



No. 131

ブックル だより

2013.
6.7月号

こんな本いかが？～あたりくはいった本から～

～幼児から～

『サーカスのあかちゃんぞう』

モード&ミスカ・ピーターシャム／さく

こみや ゆう／やく 長崎出版

サーカスで働くぞうのおかあさんは、ピエロのゾンビさん一家のように行儀よくごはんをたべさせたいと、あかちゃんぞうをつれてテントにしのびこみますが……。

『からすのおかしやさん』

かこ さとし／作・絵 偕成社

～低学年から～

『かわいいゴキブリのおんなの子 メイベルのぼうけん』

ケイティ・スペック／作 おびか ゆうこ／訳

太野 八生／画 福音館書店

冷蔵庫の下でひっそりと暮らすゴキブリのメイベルは、おいしいものが大好き。ある土曜日の「床に落ちる前の、お皿にのったごちそうを食べたい」という夢をかなえようと、明るいキッチンへ出て行きます。

『おこめができた！』 ひさかたチャイルド

～中学年から～

『美術館にもぐりこめ！』

さがら あつこ／文 さげさか のりこ／絵

福音館書店

ある町の美術館に、三人組の盗賊団がしのびこんだ！彼らといっしょに、美術館ではたらく人たちの仕事ぶりや、展示の工夫などをのぞいてみよう。

『ゲーテンベルクのふしぎな機械』

ジェイムズ・ランフォード／作

千葉 茂樹／訳 あすなろ書房

「広島市子どもの読書活動推進計画(第二次計画)」に基づき様々な事業に取り組んでいます。家庭で一日一冊絵本の読み聞かせをしましょう。

～高学年から～

『切り株ものがたり』

今井 恭子／作 吉本 宗／画

福音館書店

里の少年・修一は、山の少女に市松人形を渡したいと思い、里の人々と山の民をこっそりつなぐ切り株の上に人形を置く。一度は少女の手に渡った人形だが……。

『デカ物語』

あんず ゆき／著 くもん出版

～中学生から～

『語りつぐ者』

パトリシア・ライリー・ギフ／作

もりうち すみこ／訳 さ・え・ら書房

父の仕事の都合で預けられた母方の伯母の家で、自分にそっくりの女の子の古い肖像画を見つけたエリザベス。アメリカ独立戦争の時代に生きた、自分の祖先であるその少女に興味を持ったことから――。

『砂の上のイルカ』

ローレン・セントジョン／著

さくま ゆみこ／訳 あすなろ書房

ほんだいすきクイズ

こども図書館では毎月の展示テーマにそった絵本からクイズを出しているよ。今回は展示テーマ「かえるのうた」がきこえるよ」からのクイズだよ。

Q. ティダリクのまえで、さらまわしをしたどうぶつは？

『おおきなカエル ティダリク』

加藤 チャコ／再話・絵 (福音館書店)

をよんでみてね！ 本は図書館にあるよ。

こたえはつぎのブックルだよりでね。

4・5月号のこたえ：「しゃもじ」

ひろしまし としょかん
広島市こども図書館 発行

〒730-0011 広島市中区基町5-83 TEL082-221-6755
http://www.library.city.hiroshima.jp/kodomo/

こども読書まつい

in こども図書館

～読んでもおいしいお菓子の本～

4月13日(土)～5月12日(日)開催

ほう 報 告

ひろしま菓子博2013の開催に合わせて、お菓子をテーマにさまざまなイベントを行いました！



「お菓子のパッケージをデザインしよう！」

応募作品展

たくさんのご応募、ありがとうございました！

小学6年生までの子どもたちから、

“もみじ饅頭”をつつむ袋のデザインを募集しました。

応募作品は、ひろしま菓子博会場内および、広島市こども文化科学館アポロホールに展示しました。

全1,618点の中から優秀作品に選ばれた3点は、ひろしま菓子博2013会場の「お菓子の工場」で配布された試食品のデザインに使われました。



菓子博会場内の展示の様子↑

お菓子の家をつくろう

図書館で本を読んだり借りたりした子どもたちに、段ボールで作った大きな家にお菓子の絵を貼ってもらい、お菓子の家を作りました。



これはなに？

お菓子に関するものを館内に置き、本を使って調べてもらいました。

チョコレートの原料・カカオの実→



★職場体験学習を終えて★

こども図書館では、毎年、職場体験実習生の受け入れを行っています。5月にこども図書館の仕事を体験した、中学3年生の3人に感想を聞きました。

N. Sさん

普段何気なく借りている本でも、1冊1冊に図書館の人の心遣いがこめられていることを知って、これからそういうことを考えて利用していこうと思いました。

S. Tさん

図書の登録やラベル貼りなどを体験し、1冊の本が利用者の手に届くまでにはいろいろな苦労があることを知ることができてよかったです。

M. Tさん

本をたくさん持ったり、立ちっぱなしだったりで大変だったけど、子どもたちと触れ合えたり、本に囲まれて仕事ができて楽しかったです。

テーマで本を読んでみよう！

「もうすぐ夏だ！冒険に行こう！」

(中学年から)

夏が近づいてきたね。この夏はどんな冒険をしようかな？

E セイ 『はるかな 湖』

アレン・セイ／作・絵 椎名 誠／訳
(徳間書店)

E マツ 『すばらしいとき』

ロバート・マックロスキー／ぶんとなえ
わたなべ しげお／やく (福音館書店)

949 え 『三つ穴山へ、秘密の探検』

パール・オーロフ・エンクイスト／作
菱木 晃子／訳 中村 悦子／絵
(あすなろ書房)

りようしゃ かた
利用の方からの
しつもん こた
質問にお答えします！



Q. 夏休みにお薦めの本はありますか？

A. こども図書館では、毎年7月に「よう！あそぼう！！」夏休みにおススメの本」というリストを発行しています。このリストは「1・2年生のキミへ」、「3・4年生のキミへ」、「5・6年生のキミへ」、「中学生のキミへ」と学年別に4種類作成しています。また、新刊本の中から選んだ約200冊の本を、幼児から中学生までの対象別に紹介した『ほんはともだち』という冊子も、2年に一度の頻度で作成しています。これらのリストや冊子は、こども図書館で自由にお持ち帰りいただくことができます。ぜひ参考になさってください。